

# 会 議 録 要 旨

(1) 会議の名称	第4回 北陸新幹線南越駅周辺整備基本計画策定委員会
(2) 開催日時	平成27年4月9日(木曜日) 午後7時～9時10分
(3) 開催場所	越前市福祉健康センター 4階 多目的ホール
(4) 出席委員氏名 (50音順)	飯田委員、川上委員、河崎委員、河瀬委員、河野委員、清水委員、富田委員、中桐委員、南保委員、福岡委員、山田委員
(5) 欠席委員氏名 (50音順)	桶谷委員、笹川委員、平井委員、平戸委員
(6) 会議議題	第4回委員会の検討内容 基本テーマの検討 他
(7) 傍聴者の数	20人
(8) 会議資料名称	北陸新幹線南越駅周辺整備基本計画策定委員会第4回資料【本編】 北陸新幹線南越駅周辺整備基本計画策定委員会第4回資料【参考資料】
(9) 会議の内容の 要旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「今まで温めていたものを出す契機」がキーワードとして良い。</li> <li>・コンセプトは「存在感」「理念(ブランド化)」「ファン」「ストーリー」を感じられるよう、選択と集中により具体的なものとする必要がある。その上では、「自然」という表現は必要なものなのか。</li> <li>・福井県内にも複数の新幹線駅が建設され、都市間競争、地域間競争ともいえる状況となる中、丹南地域の特性は「伝統・文化」にあると考えられるため、削除したほうが強調されるのでは。</li> <li>・「ファン」、「主役」が地域住民であれば、駅に対する関心や改善に向けた働きかけが生まれてこないのでは。</li> <li>・南越駅周辺は国道8号、北陸自動車道、新幹線の3つが隣接しており、人の流れは十分にあり、また物流の拠点にもなりうるので、通過していただくではもったいない。道の駅的施設などにより、人を留め、地域住民も訪れる場所となってほしい。</li> <li>・丹南地域全体で持っている「伝統・文化」という地域資源を結びつけ、再発見して、新しい価値や他地域との差別化を図り、発信していく仕掛けをつくるということで共通している。そこで共通認識を持った上で、機能やデザイン、ストーリーといった具体的な中身の検討に入る。</li> <li>・素案3をベースに、コンセプトを「伝統・文化を未来につなぐ癒しと交流の空間」としたうえで、具体的な検討を進め、整備計画案を作成する際に改めて全体で整合がとれているかを確認していく。</li> <li>・新幹線の見えるスポットへの関心が高い。今回オプションとして提示された展望についても是非検討したい。</li> <li>・地域に誇りを持てるような機能や施設、デザインを検討すべき。</li> <li>・2次交通は、既存路線の再編も含め検討すべき。また、サンドーム福井への2次交通も検討すべき。</li> <li>・P&amp;R駐車場は、周辺駅の状況や、発地側と来訪者側の手段構成の違い等に配慮しながら、適正な規模であるか検討すべき。</li> </ul>
(10) その他	・次回日程は決まり次第、改めて連絡する。